

2010年度社会貢献活動報告書

2011年06月
株式会社 マルハン

1. はじめに
 2. 会社紹介
 3. マルハンの社会貢献理念
 4. 社会貢献活動方針
 5. 社会貢献活動の取り組み(5つの項目別に活動事例紹介)
 - ①「地域社会貢献」
 - ②「健康・生活環境」
 - ③「スポーツ」
 - ④「芸術・文化」
 - ⑤「日韓交流」
- 特別事項 東日本大震災復興支援の取り組み
- ①「物資支援」
 - ②「義捐金」
 - ③「現地ボランティア」

1. はじめに

～ CSRを重要なテーマとして積極的な活動を推進する ～

弊社は「社業を通じ、人々に生きる喜びと安らぎの場を提供し、幸せで希望に満ちた明るく楽しい社会づくりに貢献する」と経営理念にも謳っているように、より良い社会・生活環境づくりに貢献する事は企業の責任であるという企業姿勢のもとCSR活動に積極的に取り組んでいます。

また、社会貢献理念に、「地域社会貢献」「健康・生活環境」「スポーツ」「芸術・文化」「日韓交流・国際支援事業」の5つの重点支援分野を掲げており、地域の活性化を目的とするイベントや青少年の健全な生活環境づくりのために行われるスポーツイベント、文化事業への支援を行い、地域とのコミュニケーションを図りながら、社会と共感できる活動を行っています。

創業50年を記念し、社会へ感謝の気持ちを伝える活動として従業員の提案でスタートした全国献血活動は3年目を迎え、従業員とお客様合わせて毎年約2000名が参加する活動となりました。年末年始にはお客様のご協力のもと、世界の子どもに「ワクチン」や「絵本」を贈る募金活動を実施。日本国内だけでなく世界へ目を向けた活動にも積極的に取り組んでいます。お客様や地域の皆様との共同体制の中で、社会に必要とされる様々な社会貢献活動に取り組んでいきます。

弊社は、今後も社会から求められる企業責任を最大限に果たし、業界を変える真のリーダーとして、心の豊かさを追求する活動に積極的に参画、支援します。

2. 会社紹介

株式会社マルハン

京都本社

〒602-0822

京都市上京区出町今出川上る青龍町231

TEL 075-252-0011(代)

FAX 075-252-0018

創業 1957年5月

設立 1972年12月

代表取締役会長 韓 昌 祐

代表取締役副会長 鈴木 嘉和

代表取締役社長 韓 裕

東京本社

〒100-6228

東京都千代田区丸の内1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス丸の内 28階

TEL 03-5221-7777(代)

FAX 03-5221-7171

売上高: 2兆322億円(2011年3月期) ※単体

経常利益: 475億円(2011年3月期) ※単体

営業店舗数パチンコホール: 269店舗(2011年5月末現在)

ボウリング場・レジャー・その他: 12店舗 (2011年5月末現在)

事業内容: パチンコ、ボウリング、ゴルフ練習場、アミューズメント、シネマなどの遊技場他レジャーに関する業務の経営

グループ会社: 株式会社エムエムインターナショナル、株式会社マルハンダイニング、
マルハンカンボジアコーポレーション、マルハンジャパン銀行(カンボジア)

3. 社会貢献理念

私たちは社業を通じて幸せで希望に満ちた明るく楽しい社会づくりに貢献していくことに努めており、自らが社会を構成する一員であることを意識して、「**良き企業市民**」としての社会への責務を果たしていきます。

ひとつひとつの店舗においては地域市民のコミュニティーセンターとして、地域社会との「**共感・信頼**」を築く活動に取り組んで参ります。

私たちの社会貢献活動の基本姿勢は「**挑戦**」「**育成**」「**継続**」です。

重点分野は「**地域社会貢献**」「**健康・生活環境**」「**スポーツ**」「**芸術・文化**」「**日韓交流・国際支援事業**」の5つです。


4. 社会貢献活動の取り組み

①「地域社会貢献」

- 全国・全従業員が取り組む地域清掃活動
 - 各店舗による地域貢献活動
- プルタブ収集活動による車椅子寄贈
- Jリーグサッカースタジアムシート

②「健康・生活環境」

- 世界の子どもにワクチンを贈る活動を支援
 - 生活環境改善のため、井戸設置支援
- 全国の店舗で従業員参加の献血活動を実施



企業責任と社会貢献 「良き企業市民」 「共感・信頼」

④「芸術・文化」

- 財団法人東京フィルハーモニー交響楽団を
オフィシャルスポンサーとして支援
 - 大道芸ワールドカップin静岡協賛支援
 - 特定非営利活動法人
京都フィルハーモニー室内合奏団へ助成

③「スポーツ」

- マルハンドリームカップ全国ベースボールトーナメント
特別協賛
 - ウィニングーマルハン少年野球教室協賛
 - 少年野球大会
 - 関西女子駅伝
- 香川オリーブガイナーズオフィシャルスポンサー
- NOMOベースボールクラブをオフィシャルスポンサー

⑤「日韓交流・国際支援事業」

- 財団法人韓哲文化財団
 - 子どもたちに絵本を贈る活動
- カンボジアマルハンジャパン銀行(MJB)の貢献活動

5. 社会貢献活動 ①「地域社会貢献」

弊社はパチンコを地域に密着した日常的なエンターテイメントにとらえ、地域社会や地域市民と極めて強いつながりがあると考えています。そのためには地域との調和は欠かせないものであり、様々な地域活動に積極的に参加することによって、当社従業員が良き企業市民として自らも社会の中で育っていくことを目指しています。

●全国・全従業員が取り組む 地域清掃活動「クリーンマインド制度」

全国にある店舗それぞれにおいて、地域貢献活動を行っております。その中でも、特にクリーンマインド活動の一環としての清掃活動に力を入れています。全国の店舗で開催した清掃活動の一部をご紹介します。



アースデイEZO 2010

札幌市近郊の店舗スタッフが2010年5月、イベント終了後の大通公園を清掃しました。



国分海岸清掃活動

2010年10月、鹿児島県と宮崎県の店舗スタッフが、合同で鹿児島県国分海岸の清掃を行いました。



安倍川花火大会会場清掃

2010年7月、東海第二エリア(静岡県の一部)のスタッフが花火大会終了後の会場を清掃しました。



毘沙門天大祭会場清掃活動

東海第一エリア(静岡県の一部)のスタッフが、富士市で行われた毘沙門天大祭の翌日、会場の清掃活動を行いました。



上尾市花火大会会場清掃

清河寺店のスタッフが、2010年8月に花火大会の会場となった荒川河川敷のゴルフ場の清掃を行いました。



糸山公園清掃

愛媛県にある今治店及び西条店のスタッフが、今治市の糸山公園にて清掃を行いました。

5. 社会貢献活動 ①「地域社会貢献」

●店舗における地域貢献活動

全国にある店舗それぞれにおいて独自の地域貢献活動を行っており、その数は合計で年間数百件を数えます。そのうちの一部をご紹介します。



地域の子供たちとの交流
福祉施設へお客様が受け取られなかった端玉景品のお菓子をお届けしています。
(写真は鳥坂店スタッフが施設へ伺った時の様子)



口てい疫被害支援募金をお届けしました
九州営業部で2010年6月にお客様にご協力いただいた寄付金と当社従業員からの寄付金を合わせ約281万円を宮崎県福祉保健部に義援金として寄付いたしました。



新燃岳火山活動被害支援募金をお届けしました
九州営業部で2010年2月にお客様にご協力いただいた寄付金と当社従業員からの寄付金を合わせ約585万円を日本赤十字社宮崎県支部に寄付いたしました。また、スタッフ有志が火山灰清掃活動ボランティアに参加しました。



援護施設の製品を景品展開
店舗近隣の援護施設で障がい者の方たちの手作りお菓子を景品として展開しています。
(写真は加治木店スタッフが施設へ伺った時の様子)

5. 社会貢献活動 ①「地域社会貢献」

●プルタブ収集活動による車椅子寄贈

今年で5年目になるお客様参加型のプルタブ収集活動。昨年に続き、全国の障がい者支援センター・老人ホームなどの福祉団体に各地域店舗を通じて車椅子を寄付する事ができました。

今年のプルタブ(アルミ缶)収集活動により、車椅子8台分の寄付が可能で約6,400Kgを達成したことに伴い、会社より22台の車椅子をマッチング購入し、合わせて30台の車椅子を寄贈しました。今までの活動を通じ、寄付した車椅子は123台になりました。



2010プルタブ収集活動報告ポスター

●大分トリニータ 大分銀行ドームマルハンシート観戦チケットを地域の方々へ

J2リーグ大分トリニータホームスタジアムである大分銀行ドームの試合観戦チケットを、1試合につき1,266席分、2007年より6年間に渡って購入し、地域の子もたちや障害者・高齢者の方々へ提供しています。

このような活動を通して、スポーツの振興、地域の活性化、青少年育成、障害者・高齢者への福祉など、地域社会に貢献したいと考えています。



マルハンシートは、ゴール裏のトリニータサポーター席に近く、興奮と熱気が感じられます

5. 社会貢献活動 ②「健康・生活環境」

弊社の目指すエンターテインメントは「安心」を土台に「刺激」と「やすらぎ」が生み出す「小さな感動の積み重ね」により実現します。このエンターテインメントを通じて、国民の心身にわたる健康な生活と、明るく楽しい社会づくりに貢献していきます。

●世界の子どもに笑顔を贈る

創業50周年記念としてスタートしたミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツなどの発展途上国の子どもにワクチンを贈る募金活動は2010年度で3年目となりました。

集まったお金で、ワクチンさえあれば防げる感染症から子どもたちを守る医療支援活動をしている認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」を支援しています。

2010年度は、お客様よりご協力いただいた募金とスーパースター投票による募金をあわせ、約1,024万円をJCVへ寄付いたしました。

また、昨年より開始した子ども達に絵本を贈る活動への協力も継続しております。公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ、約777万円を寄付いたしました。

※いままでの募金活動でJCVに寄付した金額: 総計約6,582万円



2010活動報告ポスター

●従業員参加の献血活動

企業活動に対する感謝の気持ちを社会に対して伝える為、従業員へアンケートを実施した結果、献血参加への要望が最も多く、全国の各店舗で従業員が参加する献血活動を行っています。

2007年6月の活動開始から、従業員だけで約2,000名が参加する活動となり、現在も続けています。2008年6月4日創業50周年記念式典では、当社の献血活動に対し、日本赤十字社より感謝状をいただきました。

また、多くのお客様からも献血参加のご協力をいただいております。従業員の自らの提案で開始された本活動を、今後も社会貢献活動の一環として、当社の風土・文化として広めていきたいと考えています。



店舗駐車場で献血に参加する従業員

●生活環境改善のため、井戸設置支援

カンボジア生活環境改善支援活動として井戸設置し寄贈しました。きれいな水を飲めず、病気に苦しみ命を落とす人々に安全できれいな水が飲めるように井戸設置支援を開始しました。

2010年にはNPO法人アジアチャイルドサポートの協力を得、カンボジア内で最もニーズが高い地域へ発電機付井戸・水槽タンク及び外灯を設置し寄贈しました。



5. 社会貢献活動 ③「スポーツ」

弊社はスポーツの分野においても、挑戦・育成・継続を基本コンセプトとします。業界を変えるという信念のもとにさまざまなチャレンジを続けてきた弊社は、『NOMOベースボールクラブ』のようにいつまでも夢を追いつづけチャレンジするチームや選手の応援をします。また、その下部組織や地域における青少年のスポーツ振興にも積極的に参加し、スポーツを通じた健全な社会づくりのお手伝いをしたいと考えています。

●第4回マルハンドリームカップ全国ベースボールトーナメント



マルハンドリームカップは、現在行われている草野球大会の中で、全国規模で行われる大会としては唯一のオープン形式の草野球全国大会です。

毎年春先から9月にかけて全国52の都道府県予選を行い54の代表チームを決定、10月初旬から11月初旬に、全国8地区で地区決勝大会を実施。見事勝ち抜いた地区代表8チームが全国大会

決勝トーナメントに進出します。決勝戦は東京ドームで開催しており、優勝チームはプロ野球OBチームとのスペシャルドリームマッチを行っています。

全国規模の野球大会を通じ、日本のスポーツ振興や健全な社会づくりに貢献したいと考えており、このマルハンドリームカップを大会特別スポンサーとして支援しています。

●ウィニングマルハン 少年野球教室



店舗にて余り玉景品として提供させていただいている「ウィニング」景品の売上の一部をもって、2006年より「ウィニングマルハン 少年野球教室」を開催しております。

こちらはプロ野球OB選手から直接子ども達に指導していただくもので、野球を通じて夢や明るい未来を描くことで、子ども達の健やかな成長に貢献したいと考えています。

5. 社会貢献活動 ③「スポーツ」

●マルハンカップ少年野球大会



弊社創業の地である京丹後市と近隣地区の少年野球チーム12チームが参加するマルハンカップを開催しています。2010年で第6回目を迎えました。

●関西学生女子駅伝



地域貢献と日々努力を続ける選手の熱い想いを応援したいと、関西学生対校女子駅伝競走大会への協賛を行っています。

●香川オーリーブガイナース



2006年より四国九州アイランドリーグに所属する『香川オーリーブガイナース』とスポンサー契約を締結し、地域におけるスポーツ振興活動をオフィシャルスポンサーとして応援しています。

●NOMOベースボールクラブ



野茂英雄投手が設立したNPO法人の野球チームで、少年野球教室やNOMOカップ（少年野球大会）の開催を通じ、地域に密着した貢献活動をユニフォームスポンサーとして応援しています。

5. 社会貢献活動 ④「芸術・文化」

弊社はエンターテイメントを中心とした文化活動の普及や東京フィルハーモニーのオフィシャルサプライヤー活動、新進芸術家の支援などを通じ、芸術・文化の発展、普及に寄与いたします。

またその受け手である観衆や聴衆が、芸術や文化活動を日常生活の中で直接に触れ楽しむ中で、心が豊かに成長していくことを願っています。



●東京フィルハーモニー交響楽団

音楽の力によって心豊かな社会づくりに貢献している同オーケストラの活動に賛同し、2005年度よりオフィシャルサプライヤーとして支援しています。

芸術・文化の発展、普及に寄与している同オーケストラの活動を支援を通じ、日本の芸術・文化発展に寄与したいと考えています。



●大道芸ワールドカップin静岡2010

世界19カ国から多数のアーティストの中から選ばれた世界トップレベルのパフォーマンス世界一を競うコンペティションです。企画運営の実行委員をはじめ、大会当日に活躍するスタッフも多くの市民の参加によって開催され、日本をはじめ世界中からも注目されています。街の活性化を図り、地域市民の文化意識向上を目指しスタートした大道芸ワールドカップin静岡を開始当初より19年間協賛・支援を続けています。



●京都フィルハーモニー室内合奏団

1972年に結成された同合奏団は「クオリティは高く、ステージは楽しく」というポリシーの元、定期公演や子どものためのクラシック入門コンサートなどを主催するほか、様々な取り組みを行っています。

2010年は12月に「京フィルとあそぼう！ はじめてのクラシックコンサート 京フィルdeクリスマス」に助成しました。これは普段はコンサート会場に入れないう小学生以下のお子様クラシック音楽に触れてもらいたいという目的のもので、コンサートの後に実際に楽器に触れてもらう「楽器体験」も実施されました。

5. 社会貢献活動 ⑤「日韓交流・国際支援事業」

創業者である韓昌祐は終戦後間もない1945年に韓国から日本に渡ってきて、京都の峰山町(現京丹後市)にマルハンの前身である喫茶レストランを創業しました。紆余曲折はありましたが、日韓のさまざまな人たちの応援を受けて現在のマルハンを築き上げました。お世話になったご恩を何らかの形でお返ししたいという意味から、またこれからの日韓の友好関係を育むために、日韓文化交流を支援していきます。



●財団法人韓哲文化財団

日韓に関わる歴史や文化などの学術研究、研究成果の出版、音楽・演劇・舞踊・美術・映像などの分野、並びに福祉やスポーツの分野において、優秀な成果を残した人に活動助成金を贈っています。

第5回助成金伝達式(2010年度)が3月14日、都内ホテルで開かれ、学術・文化・スポーツ・福祉などの分野から11団体・個人に助成金が手渡されました。日韓の交流を深めてゆく活動を支援する事が両国の架け橋になるよう願っています。



●子どもたちに絵本を贈る活動

マルハンジャパン銀行の設立を機に、カンボジアへの地域社会貢献として始めたのが、カンボジアの子どもたちに絵本を贈る活動です。公益社団法人シャンティ国際ボランティア会を通じ、クメール語の絵本を9000冊制作して小学校や移動図書館に贈りました。話の選定から絵本製作まで全て現地で行われており、子ども達への教育支援のみならず、民話の保存や絵本製作技術の向上など、文化・産業の支援にも貢献しています。

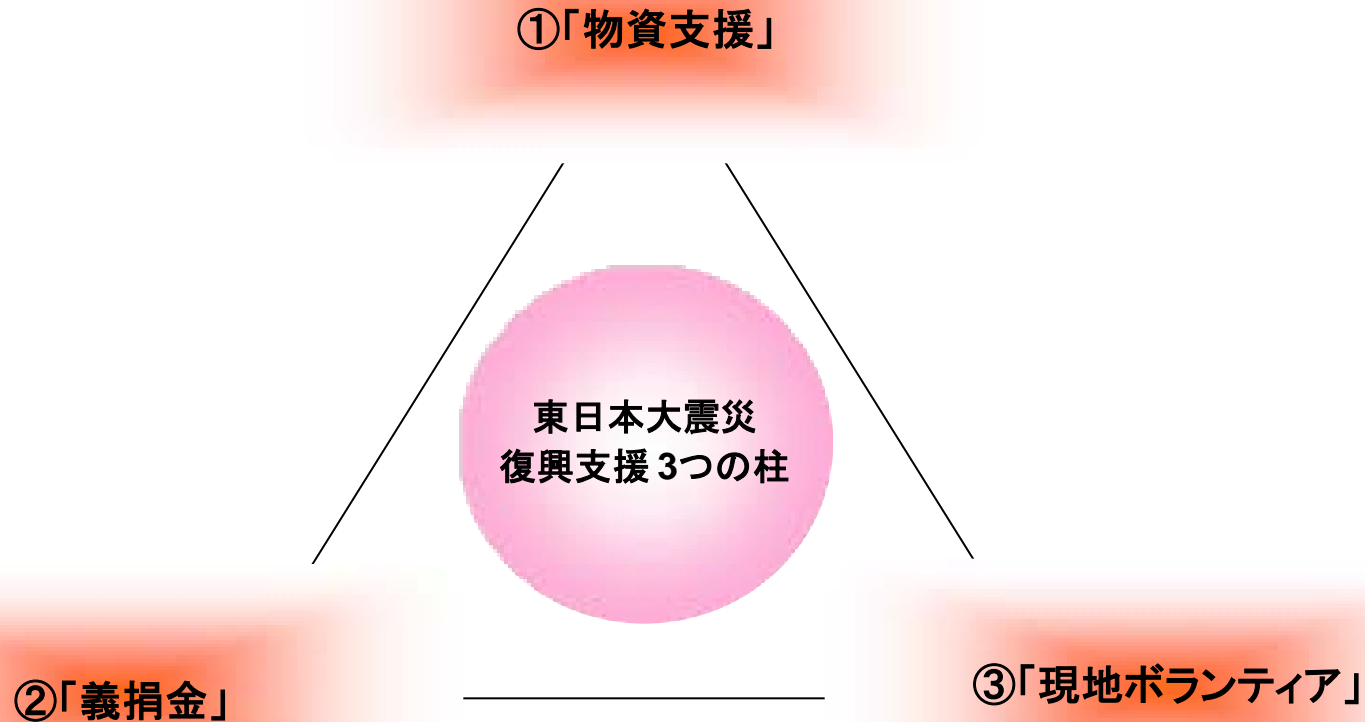


●カンボジアマルハンジャパン銀行の貢献活動

カンボジア王国プノンペン市において、孤児や経済的に恵まれない子供たちに、教育・文化・スポーツの援助をする Indochina Starfish Foundationのフットボールコーチングプログラムを通じ、上記の子供たちでフットボールチームを1チーム構成する支援を行っています。フットボールチームのユニフォーム一式、練習道具、練習場のレンタル料、フットボールコーチの手当等を支援。更に彼らが使う移動用バス(2トントラックを改造)の使用費用を支援。

3月11日に端を発した東日本大震災において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

弊社では地域社会貢献という観点から、震災後下記3つの柱を中心に復興支援を実施しております。



特別事項 東日本大震災復興支援の取り組み ①「物資支援」

- ・3月24日、水179ケース(1ケース12リットル)をいわき市役所へ持参しました。
- ・4月車椅子10台を、被災地の障がい者支援の為に 株式会社ミライロが展開するハートチェアプロジェクトへ提供しました。
- ・お客様から寄付いただいた端玉景品のお菓子を、茨城県保険福祉部福祉指導課などを通じて避難所の皆様にお届けしました。
- ・水や食料、カセットコンロ、トイレトペーパー等、必要とされている生活用品を石巻市・塩釜市・多賀城市の各市役所、仙台市宮城野区・若林区・泉区の各区役所、仙台市内の弊社店舗近隣の避難所及び弊社店舗に提供しました。

<送付した主な物資>

食料	9,000個
食器	3,000人分
カセットガス	4,000本
生理用品	10,000個
ゴミ袋	9,000枚
軍手	3,000枚
水(2L)	5,000本
カセットコンロ	400個
トイレトペーパー	10,000個
除菌ウェットティッシュ	3,000個
自転車	30台



物資が倉庫に集まった時の様子

・4月13日、石巻市・仙台市・名取市・いわき市へ各1億円を市民の皆様への義捐金として寄付させていただきました。



石巻市への寄贈の様様



名取市への寄贈の様様



仙台市への寄贈の様様



いわき市への寄贈の様様

・5月26日までに以下の通り義援金を寄付しています。

寄付先	金額	備考
石巻市	1億円	被災者の皆様への義捐金として
仙台市	1億円	被災者の皆様への義捐金として
名取市	1億円	被災者の皆様への義捐金として
いわき市	1億円	被災者の皆様への義捐金として
全日本遊技事業共同組合連合会	3291万8400円	パチンコホール業界全体での被災地支援の為
あしなが育英会	1600万円	震災遺児の学業支援の為
ハートチェアプロジェクト（株式会社ミライロ）	100万円	被災地の障がいのある方々の支援の為
合計	4億4991万8400円	

・景品カウンターにて、4円パチンコ5玉(メダル1枚)を1口として、お客様がお申し付け下さった口数分を当社から寄付させて頂く活動を行っています。

2011年5月22日現在で638万1280口(1億2762万5600円)となりました。

復興に役立てていただくよう、日本赤十字社に寄付させていただきます。

- 被災地のうち、被害が特に大きくかつ当社出店地域であった石巻市において、以下の通りボランティア活動を行いました。

期 間： 第1班 2011年4月25日～28日
 第2班 2011年5月17日～20日 各4日間
 参加人数： 第1班 本社スタッフ 14名 石巻店スタッフ 24名 総勢 38名
 第2班 本社スタッフ 24名 石巻店スタッフ 24名 総勢 48名
 活動内容： 現地ボランティアコーディネーターの方の指導のもと、
 住民の方々と一緒に民家に溜まったヘドロや瓦礫の片付けや排水溝の清掃を実施

<ボランティア派遣予定>

班名	期間
第1班	2011年4月25日～28日
第2班	2011年5月17日～20日
第3班	2011年6月14日～17日
第4班	2011年7月12日～15日
第5班	2011年7月19日～22日

※第6班以降は調整中です

- 今後も石巻市に向けて以下のとおり順次ボランティアを派遣して参ります。

期 間： 2011年4月25日～2012年4月30日(1年間)
 回 数： 1班4日間の活動を月1回程度 計12回を予定
 参加対象： 関東以東の店舗スタッフ及び東京本社スタッフ
 参加人数： 1班あたり約20名 のべ約240名を予定

